

働く人としっかり向き合い、信頼され、選択される 〈静岡ろうきん〉であり続けるために



日ごろより〈ろうきん〉をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、ディスクロージャー誌「静岡ろうきんの現況2017」を作成いたしました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

第2期中期計画『TRY』3ヵ年の中間年度である2016年度は、〈ろうきん〉住宅ローンの取扱開始から60周年を迎えた節目の年でもあり、多くの方に預金・預かり資産・融資をご利用いただきました。皆様のご理解とご協力で心より御礼申し上げます。

さて、勤労者を取り巻く環境は、有効求人倍率が高水準で推移し、雇用の増加が消費を下支えするとの見方がある一方で、所得格差の拡大から「こどもの貧困」や「奨学金問題」が社会問題化しています。また、個人金融市場では、ITの進歩による金融取引の変化や市場金利の低位継続など、かつて経験したことのない環境変化が続いています。

勤労者の将来への不安が増す中で、当金庫は「ファースト口座開設キャンペーン」や「子育て応援ローン」、「県労福協教育ローン利子補給制度」等を通じて子育て世帯を応援し、「共生社会の実現に向けた取組み」を方針としてCSRに取り組んでまいりました。

これらの取組みに加え、2017年度は銀行カードローンの急激な残高増加等による過剰貸付防止(多重債務問題)の対策として、「ローンのおまとめキャンペーン」等を通じた家計見直しの取組みにより勤労者世帯の可処分所得向上をはかり、勤労者が安心できる暮らしをサポートすることが急務であると考えております。

働く人の福祉金融機関である当金庫の役割を発揮し、「働く人としっかり向き合い、信頼され、選択される〈静岡ろうきん〉」を実現すべく、第2期中期計画『TRY』総仕上げの2017年度にTRYしてまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年7月

理事長
古川 正明